

なら歴史芸術文化村

芸術文化体験棟南側・屋外展示

三橋 玄 竹アート

「未完のかたち 天と地」



公開制作開始 11/19(土)
作業終了予定 11/30(水)
展示終了予定 12/12(月)

公開制作期間中はアート制作の様子を自由にご覧いただけます。
解説や質問への対応も可能な限り行います。
進行状況や天候などによって制作を中断したり、終了予定日前に終了する場合があります。現地の様子や詳細を SNS などでご確認ください。



11/10 (木)
素材準備作業
ワークショップ 雨天時 11/11

竹洗い、竹割、曲げなどの加工を行い、竹アートの材料を作る作業に参加できます。
9:30~11:30 13:30~15:30 参加無料。
素材作りを手伝っていただきながら竹の基本をお伝えします。事前の申し込みが必要です。折り返し必要事項や詳細をお送りします。

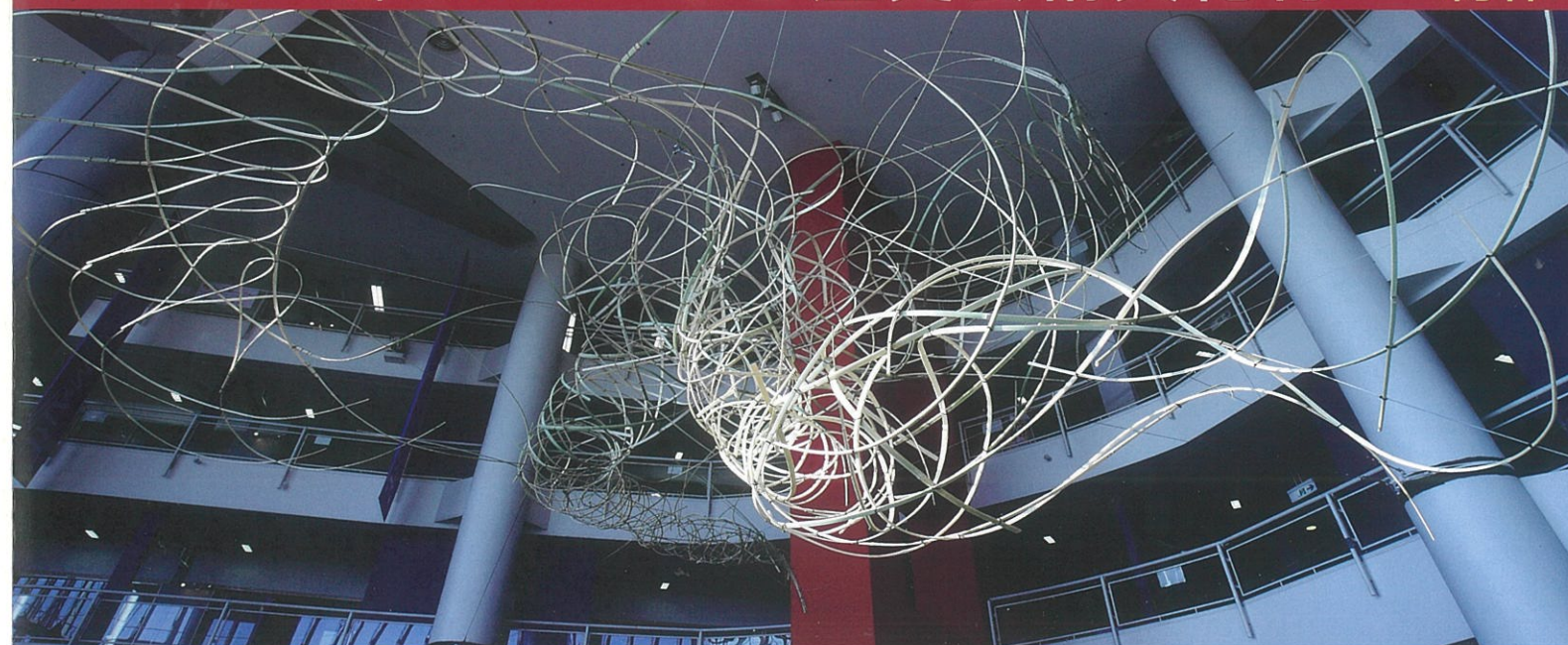
主催：なら歴史芸術文化村
助成：令和4年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



三橋玄
竹アート
「未完のかたち 天と地」

公開制作

11/19 制作開始 ~ 12/12 展示終了予定 **なら歴史芸術文化村**



なら歴史芸術文化村



homepage



instagram



facebook



youtube

所在地 〒632-0032
奈良県天理市杣之内町 437-3

アクセス ※JR・近鉄天理駅より
直行バス、直行デマンドシャトル運行 (有料)
※奈良交通バス「勾田」下車徒歩 15分

開館時間 9:00~17:00 休館日/月曜
(祝日の場合は翌平日が休館)

※レストラン・貸館は 9:00~20:00
にぎわい市場・伝統工芸館は 9:00~18:00
※レストラン、にぎわい市場、伝統工芸館は月曜日でも営業
※情報発信棟トイレを除き 12/28~翌年 1/4 は休館

問合せ TEL 0743-86-4420 (代表)
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>



三橋 玄 (みつはし げん)
プロフィール



竹アーティスト。1972年 東京生まれ。
世界辺境放浪の旅を経て、作家活動に入る。
野外での大型インスタレーション制作の中で竹に出会い、
2005年から「いのちのかたち」をテーマに竹の巨大造形を
作り続けている。地域や文化、歴史、観光などをテーマにし
たイベントでのアートやモニュメントの制作、野外音楽フェス
のステージ、店舗や公共空間の装飾などを幅広く手掛ける。
世界遺産や国宝に指定された遺跡・寺社・史跡・城址など
での制作も多い。2017年フランスで野外展示。竹をテーマ
にした地域活性化のための活動にも多数関わる。竹を切る
日々の中で「竹は人を必要としている」ことを発見し、人と
自然の共生のシンボルとしての竹の可能性を広げようと「竹
の國」を設立、竹林の整備とともに竹の用途、活用の研究、
商品開発、ワークショップや講演、「竹林茶会」も行っている。
奈良県桜井市在住。

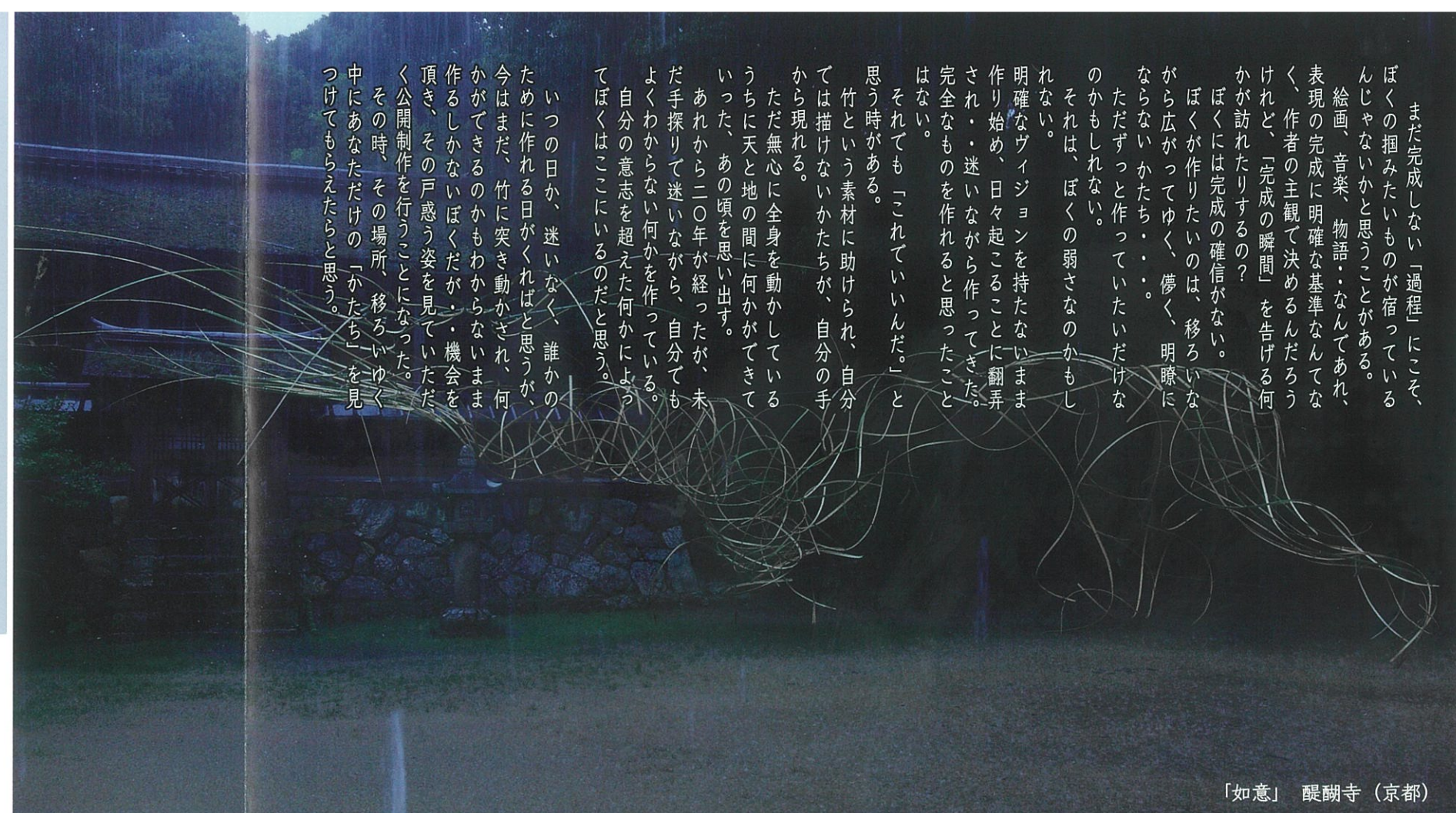
email: genmitsuhashi@gmail.com



https://www.instagram.com/gen_mitsuhashi/



<https://www.facebook.com/gen.mitsuhashi/>



「まだ完成しない「過程」にこそ、ぼくの抱きたいものが宿っているんじゃないかと思うことがある。絵画、音楽、物語・なんてあれ、表現の完成に明確な基準なんてなく、作者の主観で決めるんだらうけれど、「完成の瞬間」を告げる何か訪れたりするの？」
ぼくには完成の確信がない。
ぼくが作りたいたいののは、移ろいながら広がってゆく、儂く、明瞭にならないかたち……。
ただずっと作っていたいだけなのかもしれない。
それは、ぼくの弱さなのかもしれない。
明確なヴィジョンを持たないまま作り始め、日々起こることに翻弄され・迷いながら作ってきた。完全なものを作れると思ったことはない。
それでも「これでいいんだ。」と思う時がある。
竹という素材に助けられ、自分では描けないかたちが、自分の手から現れる。
ただ無心に全身を動かしているうちに天と地の間に何かかかてきていった、あの頃を思い出す。
あれから二〇年経ったが、未だ手探りで迷いながら、自分でもよくわからない何かを作っている。自分の意志を超えた何かによつてぼくはここにいるのだと思う。
いつの日か、迷いなく、誰かのために作れる日がくればと思うが、今はまだ、竹に突き動かされ、何かができるのかもわからないまま作るしかないけど、機会を頂き、その戸惑う姿を見ていただく公開制作を行うことになった。
その時、その場所、移ろいゆく中にあなただけの「かたち」を見つけてもらえたらと思う。

「如意」 醍醐寺 (京都)

竹の國は、美しい竹林を作り、竹の利用を研究し、お互いに教え、学びあう場です。

竹は人を必要としています。竹は人の手が入らないとヤブになり、人が竹を切ることで初めて美しい竹林が生まれます。人が自然と共生していく手がかりが竹にあるのではないのでしょうか？

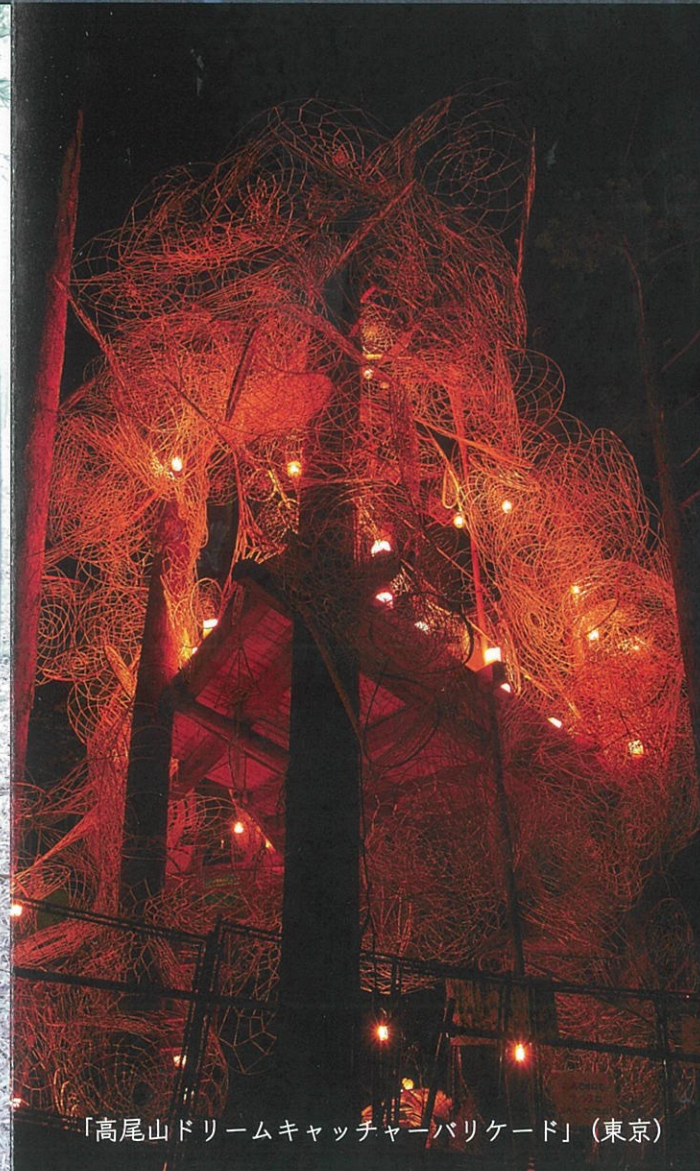
美しい竹林を作りながら竹を使っていきたい、との思いから「竹の國」は2013年に奈良県で生まれました。竹林を整備管理しながら、竹のものづくりや利用のワークショップ、観光・学び・体験の場としても活用する取り組みを進めています。

竹と茶道の結びつきに着目し「お茶」をテーマの一つにしています。「竹林茶会」を開催したり、竹の茶道具や花道具を作っています。

竹は女性や子どもでもノコギリ一本で切ることができ、軽くて加工も簡単です。自分の手で獲得できる自然素材の入門に適していますが、使い道は無限です。竹林を舞台に様々な人たちが得意なことを持ち寄って、教え合い、学び合いながら何かを作り、その結果心地よい自然環境が維持される、そんな場を作っていきたいと思います。

竹の國

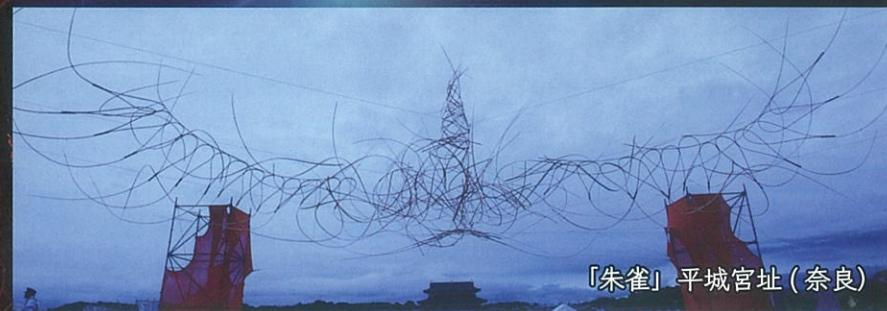
たけのくに 興味のある方、お気軽にご参加ください。



「高尾山ドリームキャッチャーバリエード」(東京)



「眼」 大阪万博公園



「朱雀」 平城宮址 (奈良)



「フジロックフェスティバル」ステージ (新潟)